食品衛生・環境検査キット ＜きっとセーフ＞ シリーズ

RIDA スクリーン 脳・脊髄組織含有テスト

ELISA 法による家畜類の脳・脊髄組織の混入スクリーニング検査（準定量）

このキットは脳・脊髄組織にのみ多く含まれる GFAP（Glial Fibrillary Acidic Protein グリア細胞繊維性酸性タンパク）を ELISA 法により検出します。食肉や肉製品（ソーセージ）中における家畜類の脳・脊髄組織の混入率を、約２時間で段階的に定量、スクリーニング検査することが可能です。

（製造：r-Biopharm 社、輸入元：チツソ株式会社）

品名 **コードNo.** **価格** **仕様** **キット内容**	**RIDA スクリーン 脳・脊髄組織含有テスト（肉製品用）** **（1511P）** **80，000円** **96 ウェル** **マイクロタイタープレート：8ウェルストリップ×12本、** **標準液（脳・脊髄組織濃度として 0%、0.2%、1.0%、2.0%）、抗体酵素複合体液、基質発色源液、反応停止液、洗浄バッファー（塩）、希釈バッファー濃縮液、抽出バッファー濃縮液：各1本**
目的・用途	食肉・肉製品におけるウシ、仔ウシ、羊、ヤギ、ブタなどの脳・脊髄組織のスクリーニング検査・準定量検査（GFAP（Glial Fibrillary Acidic Protein グリア細胞繊維性酸性タンパク質）の検出）
原理と **検出限界**	ELISA 法 ソーセージにおける脳・脊髄組織濃度として約 0.2% （但し検体の加工度合いや前処理により異なります。また、脊髄組織にはより多くの GFAP が含まれるため、より高感度になる可能性もあります。）
所要時間 **保存条件**	操作（前処理含）約2時間 ４～８℃、露光厳禁
前処理 **操作**	肉・肉製品： ホモジナイズ後、試料 2gに抽出バッファー10mL を加え再度ホモジナイズ よく振とうし、100℃で 15 分間加熱する 冷まして、10℃、3,500G で 10 分間遠心分離する。 脂肪層を取り除き、上清を希釈バッファーで 20 倍希釈する。（試料 50μL：バッファー950μL） ①抽出試料、各標準を 50μL づつそれぞれのウェルに滴下する ②各ウェルに酵素複合体液を 50μL ずつ滴下し、振とう ③　　室温で 30 分間インキュベート。ウェル内の液を廃棄後、洗浄バッファーで3度洗浄。 ③各ウェルに基質発色源液を 100μL ずつ滴下して振とうする。 ④　　室温で 30 分間インキュベート。 ⑤各ウェルに反応停止液を 100μL ずつ滴下して振とうする。 ⑥吸光度を測定する。標準液ウェルの吸光度と比較して、試料の濃度を段階的に判断する。
その他必要 **機器** **試薬**	50/100/500μL 用マイクロピペット、フォトメーター(450nm)、遠心分離機（10℃）、ホモジナイザー、遠心管、メスピペット、ウォーターバス、ろ過器具など

本品は食品衛生・環境等に関わる自主検査用キットであり、臨床検査等診断に用いることはできません。　必ず取扱説明書等をご覧頂き、使用・保管・廃棄等の方法には充分ご注意下さい。　なお、価格・仕様など、内容を予告無く変更する場合があります。

お問合せ：アヅマックス株式会社 東京営業所 Tel 03-5543-1630 Fax 5542-7656
ご注文：アヅマックス株式会社 本社 Tel 0436-20-2660 Fax 0436-20-2665
http://www.azmax.co.jp/　E-mail:sales@azmax.co.jp